

さらなる発展を目指して

町村合併60周年記念式典



10月26日、コミュニティプラザ文化ホールにて、多古町町村合併60周年記念式典が開催され、町の発展に寄与された方々が表彰を受けたほか、記念事業として昨年度から制作が進められてきた町マスコットキャラクターの完成披露が行われました。

子ども園の5歳児による元気いっぱい歌声とともに幕が上がった記念式典は、町長による式辞と町議会議長によるあいさつの後、「自治、教育文化、保健衛生、消防、交通安全、統計、防犯活動」の7分野において、永年ご尽力された計72名の方々に表彰するとともに記念の品が贈られました。続いて、アトラクションの第一部として行われた町マスコットキャラクターのお披露目では、日本各地から2,000通を超える応募作品の中から、最終選考に残った3作品のうち一般投票で決定した最優秀作品の原案者である、埼玉県在住の川延七恵さんと優秀作品の原案者である京都府在住

の福士麻貴子さんに入賞賞金と副賞（多古米）が町長から贈られました。第2部では、町で活動している3つの合唱グループ（歌はともだち、土曜コーラス、男声合唱団おろち）による歌声が文化ホールに響き渡り、受章者をはじめ集まったおよそ400人が美声に聞き入りました。そして、式典の最後には全員による童謡「ふるさと」の合唱で締めくくられました。

また、午後には、多古町間倉地区出身の鶴澤静さん（㈱日清紡ホールディングス会長）による、「多古町からグローバル企業の経営者に。軌跡を振り返る」と題した生涯学習文化講演会が開かれ、転勤と家族の話や、これまで歩んできた社員時代と経営者になってからのことなどについて話された後は、10年後の日本での炭素繊維はどうなるのか、鶴澤さんのこれからの夢、人事や教育についてなど来場者からの様々な質問に答えていたなど、とても有意義な時間となりました。

式典あいさつ概略

多古町長
菅澤 英毅



「ひと・文化・自然 みんなでつくる 潤いのまち 多古」を基本理念に様々な事業を展開する中で、分権時代を迎えた社会において、地方自治体には住民参加を基にしたまちづくりが求められています。この60周年を新たな出発点として、より魅力と活力にあふれたまちづくりに取り組んでいきます。

多古町議会 議長
所 一重



60年前に合併を決断した当時の町村長や議員・町村民は大きな発展を期待し、多くの困難を乗り越えての合併だったと思います。その想いを大切にして町議会は町民の皆様との連携を一層密にして、活力ある町づくりと住民福祉の向上のため、さらに努力してまいる所存でございます。

プロフィール (一部)

愛称	多古の新米かあさん ふっくらたまこ
誕生日	4月1日(多古町誕生日の翌日。誕生石はダイヤモンド!)
年齢	ひみつ(ずうっと新米かあさん)
住んでいるところ	成田国際空港の東隣り、豊かな自然と歴史に育まれた千葉県多古町●三世代が仲良く暮らす米づくり農家のはなれ(納屋の2階)
性格	ふっくらとしたいやし系●人なつこくて、誰とでもすぐに仲良くなれる●新米かあさんなのにとでも世話好き
大好きなもの	多古町の自然、とくに里山と田園風景と栗山川!●四季折々に咲く花と花をテーマとしたイベント●由緒ある寺社・文化財と伝統の祭り●人情が厚い多古町の人、とくに子どもたちが大好き
好きな食べ物・飲み物	もちろん多古米。とくにヤマトイモのとろろごはんとお寿司●多古米の豚丼(元気もりもりになる)●ニンジンサラダ、なしやぶどうも大好き●多古町産のサツマイモやイチゴを使ったアイスクリーム●多古米を使ったお酒もたしなむ
好きな植物	あじさい、コスモス、菜の花、さざんか
特技と趣味	おいしいおにぎりが握れること、太巻き寿司を上手に作れること(ベテランかあさんみたい)●誰とでも仲良くなれること●実は飛べるんです!(でも、飛んでいるところを誰も見たことがない。なんだかトトロみたい)●趣味は、相撲ごっこ
夢	多古町の魅力をみんなに知ってもらうこと●多古町の特産品を全国のみんなに食べてもらうこと、海外の人にも食べてもらうこと

みせすん こんにちは〜
ふっくらたまこです



3つの候補から人気投票で決定したマスコットキャラクター「ふっくらたまこ」さん。この記念式典でみなさんにお披露目されました。かわいらしい姿と動きに、会場は笑顔と歓声であふれました。

「ふっくらたまこ」は私の分身みたいなもの

「ふっくらたまこ」の生みの親

川延 七恵さん

埼玉県入間郡三芳町 在住



夫の実家の近くに造形大学がありまして、そのオープンキャンパスを見学していたんですが、そうしたら廊下に募集要項の紙がたまたま貼ってあって、それを見て応募してみようかなと思っただけなんです。なので、以前から多古町を知っていたというわけではないんです。応募しようと思っただけから多古町のことについて調べ始めました。

ホームページを見てみると、あじさいや大和芋、お米など掲載してある画像が自然豊かで、「見るところがいいな」と多古町について興味を覚えました。

キャラクターを作るときは、いやし系みたいなかわいい感じのキャラクターを作ろうと考えていて、お米が有名だと書いてあったこと、もともと、自分に似ているキャラクターを作ってみたくて思っていて、そうしたらこんな感じになりました。実は、私も食いしん坊だしお米やおにぎりが大好きだし、そのまんまな感じで、親近感がわきました。

最初からお米というイメージと多古町という言葉が頭の中に繰り返し出て、多古町、多古米、多古町、多古米……

「たまこ」と突然名前とイメージが頭に「ほんつ」と浮かんだんです。ピンと来た感じがしました。

役場から採用の電話がかかってきたときは信じられなくて、ほんとにびっくりしました。話が終わった後に「聞き間違いかな?」と思ったくらいでした。後で、ホームページに出ているのを見て確認したときにはじめて実感しました。完成度も高くて、自分のイメージしたものが高さ立体的になったという感じです。頭についているあじさいとか、細かいところまでしっかり作られていて、「すごいな」と思いました。

60周年の記念式典にお招きいただいたことや、自分のデザインを選んでくれた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。自分の思いが形になったことがとてもうれしいです。

「たまこ」によって、多古町が盛り上がりつつあるといいという思いを込めてデザインしました。「たまこ」がいろいろな人に愛され、たくさんの人に知ってもらえるようになればいいなあと思います。